

学校管理下における危機管理マニュアル

令和 7年

【桑名西高等学校】

緊急時における生徒の登下校について

【通常日課（6・7限）の場合】

1. 午前7時に暴風警報・暴風雪警報又は特別警報が発令されている場合。
 - (1) 生徒は、自宅待機とする。
 - (2) 午前11時までに、暴風警報・暴風雪警報又は特別警報が解除された場合は、登校すること。（解除後であっても、安全確保を最優先に考え、自身で危険と判断された場合は、自宅待機とする。）
但しスクールバス利用者は、すぐ～るにて運行時間等の連絡をするので、連絡があるまで自宅待機とする。
 - (3) 午前11時においても、暴風警報・暴風雪警報又は特別警報が解除されない場合は、休校とする。
2. その他
 - (1) 公共交通機関が不通の場合、午前7時までに、学校としての方針をすぐ～るで連絡する。（安全確保を最優先に考え、学校からのすぐ～るが届くまで、自宅待機とすること。）
 - (2) 警報が発表されていない状況や、公共交通機関が不通でない状況でも、安全確保を最優先に考え、危険であると自身で判断した場合は、決して登校することなく、自宅待機とすること。（但し、その際は学校に自宅待機している旨を連絡すること。）

【午前日課、考査等の場合】

1. 午前7時に暴風警報・暴風雪警報又は特別警報が発令されている場合。
（当日の行事、考査や課外は中止し、休校とする。）
2. 警報が午前7時までに解除された場合。
予定通り、行事、考査や課外を実施するので、平常通りに登校すること。
（解除後であっても、安全確保を最優先に考え、自身で危険と判断された場合は、自宅待機とする。）

南海トラフ地震臨時情報への対応について

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら、以下のようにします。

1. 南海トラフ地震臨時情報(調査中)が発表されたとき
 - ・地震への備えを再確認する
 - ・情報収集に努める
 - ・平常通り過ごす
2. 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表されたとき
 - ・情報収集に努める
 - ・学校災害対策本部を設置する
 - ・避難者の受け入れを行う
 - ・1週間程度の臨時休業とする
3. 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されたとき
 - ・情報収集に努める
 - ・状況に応じて下校や休校の措置を講じる
 - ・避難者の受け入れ準備等を行う
4. 南海トラフ地震臨時情報(調査終了)が発表されたとき
 - ・日ごろからの地震への備えを再確認する

不審者侵入防止対策について

1. 校外から、校内に入ることができる箇所には防犯カメラが設置してあります。
2. 来校者については
 - ・正門から出入りを行う
 - ・事務室で受付をする
 - ・来校者用ネックホルダーをつける
3. 来校者とすれ違った際には、ネックホルダー等を確認しながら、積極的に挨拶・声掛けをする

熱中症対応について

基本的な考え方

校長は、下記の表を基にした熱中症対策を講じる。

表 3-1 暑さ指数 (WBGT) に応じた注意事項等 (環境省¹⁷⁾)

暑さ指数 (WBGT)	湿球温度	乾球温度※3	注意すべき活動の目安	日常生活における注意事項※1	熱中症予防運動指針※2
31℃以上	27℃以上	35℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
28～31℃	24～27℃	31～35℃		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒 (激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※4は運動を軽減または中止
25～28℃	21～24℃	28～31℃	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。	警戒 (積極的に休憩) 熱中症の危険度が増すので積極的に休憩を取り適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では30分おきくらいに休憩をとる
21～25℃	18～21℃	24～28℃	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意 (積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

(※1) 日本生気象学会『日常生活における熱中症予防指針 Ver.3』(2013)より

(※2) 日本スポーツ協会『熱中症予防運動指針』(2019)より。同指針補足：熱中症の発症リスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。

運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。

(※3) 乾球温度(気温)を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。

(※4) 暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

1. 学校での対応

(1) 体育の授業について

- ・屋外で暑さ指数(WBGT)が31℃以上を指している場合は、屋内での授業に切り替える。
- ・体育館内で暑さ指数(WBGT)が31℃以上を指している場合は、教室での座学に切り替える。

なお、校長・教頭は熱中症予報に応じて、以下の指示を検討する。

- * 常に水分補給ができる状態にしておく。
- * 少しでも体調不良がある場合は、無理をせず見学をさせるなどの対応を取る。
- * 授業途中で体調に異変を感じたら、すぐに担当教員に知らせる。

(2) 学校行事について

- ・屋外で暑さ指数(WBGT)が31℃以上を指している場合は、屋内で出来ることに切り替える。
- ・体育館内で暑さ指数(WBGT)が31℃以上を指している場合は、冷房の効いた教室で出来る活動に切り替える。

なお、校長・教頭は熱中症予報に応じて、以下の指示を検討する。

- * 常に水分補給ができる状態にしておく。
- * 少しでも体調不良がある場合は、行事に参加させないなどの対応を取る。
- * 活動途中で体調に異変を感じたら、すぐに近くの教員に知らせるように指示をする。

(3) 部活動について

- ・活動場所の暑さ指数(WBGT)が31℃以上を指している場合は、活動を中止する。

なお、校長・教頭は熱中症予報に応じて、以下の指示を検討する。

- * 常に水分補給ができる状態にしておく。
- * 少しでも体調不良がある場合は、部活動を休むように常に伝えておく。
- * 活動途中で体調に異変を感じたら、すぐに近くの生徒または顧問に知らせるように指示をする。
- * 休憩時間は涼しい場所を指定し、体を休めるようにする。

2. 熱中症発生時の対応

(1) 涼しい場所へ移動させる

- ・風通しの良い日陰や、冷房の効いた部屋等へ移動させる。

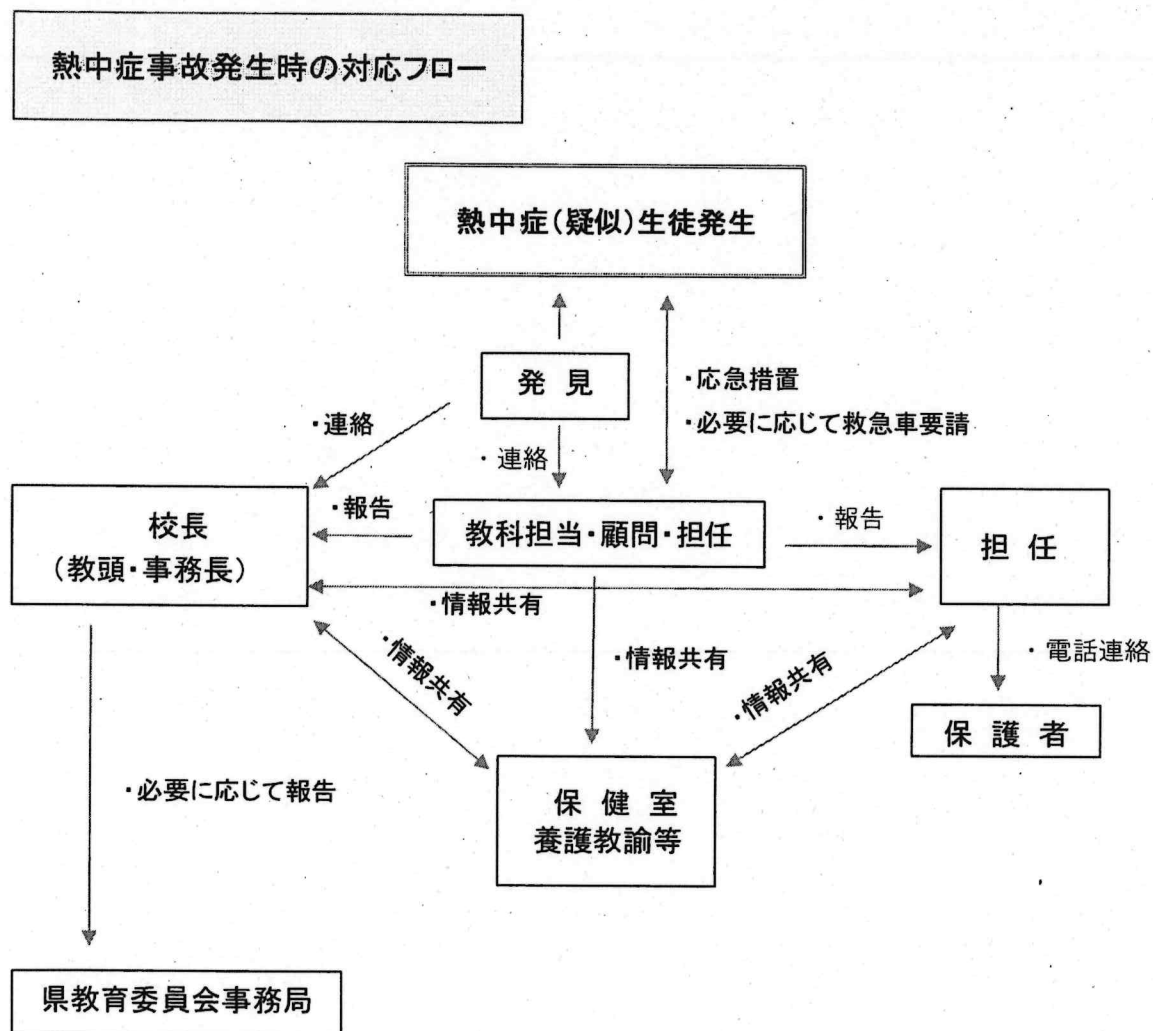
(2) 体を冷却

- ・衣服を緩めるなどして風通しを良くし、熱を発散させる。
- ・濡らしたタオルを皮膚にあて、うちわなどで風を送り体を冷やす。
- ・首の付け根、わきの下、股関節等に氷のう等をあてて体を冷やす。
- ・横にさせ、足を上げる。
- ・意識がある場合は、経口補水液を飲ませる。

(3) 観察

- ・生徒をしっかり観察する。
- ・意識があり水分も取れるからといって油断はせず、しばらく観察する。
- ・自分で水分が取れない、または意識がはっきりしない場合は速やかに救急車を要請する。

4. 熱中症発症時のフローチャート



熱中症フローチャート

確認事項

対応事項

熱中症を疑う症状がある

はい

意識があり、
呼びかけに応じますか

いいえ

管理職に報告するとともに
救急車を呼び、保護者に連絡

はい

涼しい場所に移動させ
服装をゆるめ、体を冷やす

はい

自分で水分摂取できるか

はい

水分(塩分)を補給する

はい

症状が改善しているか

いいえ

管理職に報告するとともに
保護者に連絡し医療機関へ

はい

安静にして、十分に休息を
とり、回復を待つ
* 観察は続ける

涼しい場所に避難し
服装をゆるめ、体を冷やす

災害備蓄物資一覧表(桑名西高等学校)

別添様式1

令和7年4月1日現在

生徒数	825	名
教職員数	58	名

物品名	数量	納品月	保管場所	使用期限	備考	
ガス発電機(新ダイワ)	1台	2012年2月	技術員室 (北クラブハウス)			
ガス発電機用オイル	1本	2012年2月				
ガソリン発電機(スバル)	4台	2012年2月				
ガソリン発電機用オイル	3缶	2012年2月			(4ストローク)	
ハロゲンライト三脚付	5台	2012年2月				
延長コードリール(30m)	5台	2012年2月			コンセント15口	
屋外用アンブ	1台					
屋外用マイク・コード	2組					
屋外用スピーカー(3脚付)	2台					
サイレン・赤色回転灯						
やかん	2個		宿直室			
毛布	20枚×4箱=80枚	2022年2月	A棟東物置	2032年2月		
	10枚×1箱=10枚	2022年2月		2032年2月		
保温シート	480枚×1箱	2022年2月				
	320枚×1箱	2022年2月				
簡易トイレ	10セット(各50回分)				非常時トイレ	
トイレ凝固剤、汚物袋	600回分×3箱	2022年2月				
毛布	10枚×2箱=20枚	2005年3月	図書室			
毛布	10枚×11箱=110枚	2013年2月				
保温シート	200枚×3箱	2013年2月			劣化により2箱処分	
物品名	数量	納品年度	保管場所		備考	
三角巾 170人分	2ケース		B棟4階 備蓄倉庫		応急処置用	
ビスコ	280個	2022(R4)			2028年7月	3年生用(R5入学)
保存水(500ml 24本入)	12箱(288本)				2028年8月	
えいようかん	112箱(560個)				2028年8月	
ビスコ	280個	2023(R5)			2029年6月	2年生用(R6入学)
保存水(500ml 24本入)	12箱(288本)				2029年9月	
えいようかん	112箱(560個)				2029年9月	
簡易トイレ	19セット(各50回分)					
防災備蓄セット	280セット	2025(R7)		C棟1階東 備蓄倉庫		1年生用(R7入学)
簡易トイレ	12セット(各50回分)					
保存水(2ℓ 6本入)	10箱(60本)	2019(R1)	宿直室	2025年7月		
保存水(500ml 24本入)	1箱(24本)			2025年8月		
保存水(2ℓ 6本入)	10箱(60本)	2020(R2)		2026年8月		
ビスコ	20個			2026年4月		
保存水(500ml 24本入)	2箱(48本)			2026年8月		
えいようかん	8箱			2026年8月		
保存水(2ℓ 6本入)	10箱(60本)	2021(R3)		2027年8月		
ビスコ	20個			2027年4月		
保存水(500ml 24本入)	2箱(48本)			2027年9月		
えいようかん	8箱(40個)			2027年8月		
保存水(2ℓ 6本入)	10箱(60本)	2022(R4)		2028年9月		
ビスコ	20個			2028年7月		
保存水(500ml 24本入)	2箱(48本)			2028年8月		
えいようかん	8箱(40個)			2028年8月		
保存水(2ℓ 6本入)	10箱(60本)	2023(R5)		2029年9月		
ビスコ	19個			2029年6月		
保存水(500ml 24本入)	2箱(48本)			2029年9月		
えいようかん	38個			2029年9月		
防災備蓄セット	10セット	2025(R7)				
ガソリン・携行缶	4缶(36L)		灯油倉庫		ガソリン保管用 毎年7月頃交換	
プロパンガス(8kg)	2本(16kg)					